

SAP MM（購買・在庫管理）解説

Materials Management: 購買管理・入荷・在庫・請求書照合・特殊調達の
全解説

2026年6月

第一章：SAP MM の概要と役割

MM とは何か

SAP MM (Materials Management: 購買・在庫管理) は「企業が必要とするモノ (原材料・部品・消耗品・サービス) を正しい品質・数量・価格・時期に調達し、入荷から在庫管理まで一元的に管理する」モジュールです。MM は SAP 全体のサプライチェーンの「インプット側」を担当し、PP の製造活動・SD の出荷・FI の買掛金管理・CO の費用管理と密接に連携します。

MM の中核機能は「調達プロセスの自動化」と「在庫の正確なリアルタイム管理」です。MRP (PP-MRP) が計算した所要量をもとに購買依頼を自動生成し、承認・発注・入荷・請求書照合の全ステップをシステム内で完結させます。

MM のサブコンポーネント

- Purchasing (購買管理) : 購買依頼・見積依頼 (RFQ) ・発注書の管理です。
- Inventory Management (在庫管理) : 入庫・払い出し・在庫移動・棚卸の管理です。
- Logistics Invoice Verification (物流請求書照合: MIRO) : 仕入先請求書と発注書・入庫の三点照合を実施します。
- Valuation (評価) : 移動平均価格 (MAP) ・標準価格 (Standard Price) ・品目元帳 (Material Ledger) による在庫評価を管理します。

第二章：できること・できないこと

MMでできること

- 調達から支払いまでの P2P (Purchase-to-Pay) の完全自動化: MRP が生成した購買依頼→発注書自動生成→入荷→請求書照合→支払 (F110) の全ステップを SAP 内で完結させます。
- 三点照合 (3-Way Match) による不正防止: 発注書の発注数量・単価と、実際の入荷数量と、仕入先請求書の金額・数量を自動照合します。差異が許容範囲外の場合は自動ブロックされ、担当者の確認が必要になります。
- 在庫のリアルタイム管理: 在庫・払い出し・移動のすべてがトランザクション転記と同時に在庫残高に反映されます。「今倉庫に何個あるか」が常に最新状態で確認できます。
- 移動平均価格による実際原価の自動計算: 移動平均価格 (MAP) 設定の品目は在庫のたびに在庫平均単価が自動再計算されます。
- 特殊在庫の管理 (委託・プロジェクト・預かり在庫): 通常在庫のほか「仕入先委託在庫・受注特別ストック・プロジェクト在庫」を品目マスタの特殊在庫カテゴリで区別管理します。

MMでできないこと・注意が必要なこと

- 複雑な仕入先交渉・契約管理: 複数仕入先への RFQ・入札評価・落札は標準 MM でも対応しますが、複雑なオークション・電子調達には SAP Ariba または SAP SRM (旧モジュール) との連携が必要です。
- 在庫評価の遡及変更: 移動平均価格 (MAP) は在庫のたびに変動し、過去の在庫単価を遡及して変更することはできません。会計期間をまたいだ在庫評価の修正は品目元帳 (Material Ledger) の MLCD コレクション機能を使用します。
- 倉庫内の棚番管理 (ロケーション管理): 標準 MM の「保管場所 (Storage Location)」は倉庫の大分類管理です。棚番・ゾーン・ピッキング経路の詳細管理には WM (Warehouse Management) または EWM (Extended Warehouse Management) モジュールが必要です。

第三章：マスタデータ

品目マスタ (Material Master)

品目マスタはMMの最重要マスタデータです。「この品目をどう調達するか・どう保管するか・どう評価するか」のすべての基本設定が格納されます。

- MM01 (品目マスタの作成) : 品目タイプ (ROH: 原材料、HALB: 半製品、FERT: 完成品、HAWA: 商品、NLAG: 在庫なし品目等) を選択し、必要なビュー (基本データ・MRP・購買・会計・在庫管理等) を設定します。
- MRPビュー: MRPタイプ・ロットサイズ・リードタイム・計画戦略・特殊調達タイプを設定します (PPとの連携)。
- 購買ビュー: 発注単位・発注テキスト・品質管理フラグ (入荷検査の有効化) ・購買グループを設定します。
- 会計1ビュー: 評価クラス (Account Determination) ・価格管理 (V: 移動平均・S: 標準価格) ・移動平均価格 (または標準価格) を設定します。

仕入先マスタ (Supplier Master / Business Partner)

S/4HANAではBPトランザクション (BP) で仕入先マスタを作成します。FIの買掛金管理とMMの購買管理が統合されたマスタです。

- 購買組織ビュー: 支払条件・通貨・発注通貨・RFQの有効期間・自動評価精算 (ERS) フラグを設定します。
- FI (会社コード) ビュー: 照合勘定 (買掛金元帳) ・支払方法・銀行口座・源泉徴収設定を行います。

購買情報マスタ (Purchasing Info Record: PIR)

「どの仕入先からどの品目をいくらで・どのリードタイムで調達するか」を記録するマスタです。発注書作成時に価格・納期が自動提案されます。

- ME11 (購買情報マスタの作成) : 品目×仕入先×購買組織の組み合わせで単価・リードタイム・有効期間を登録します。
- MEK1 (購買条件の設定) : 数量別段階単価・期間別価格変動を登録します。

ソースリスト・供給元一覧

- ME01（ソースリストの設定）：品目ごとに「どの仕入先から優先調達するか」の優先順位（Fixed Source）を設定します。MRPが購買依頼を生成する際にソースリストを参照して自動的に仕入先を決定します。

第四章：購買業務フロー

購買依頼 (Purchase Requisition: PR)

購買依頼は「誰かが何を買ってほしいという社内申請」です。MRP から自動生成 (MD01N 実行後) または担当者が手動作成 (ME51N) します。

- ME51N (購買依頼の作成) : 品目・数量・希望入荷日・勘定割当カテゴリ (K: 原価センタ、P: プロジェクト、無: 在庫品) を入力します。
- ME54N (購買依頼の承認) : 承認ワークフローが設定されている場合、上長が ME54N で承認します。承認後にバイヤーが発注書作成へ進めます。
- ME57 (ソース決定と発注書への変換) : 複数の購買依頼を一括でソース (仕入先) 決定し、発注書に変換します。ソースリスト・購買情報マスタを参照して仕入先を自動決定します。

見積依頼 (RFQ: Request for Quotation)

- ME41 (RFQ の作成) : 複数の仕入先に見積を依頼する場合に使用します。品目・数量・希望日・質問事項を入力して RFQ を作成します。
- ME47 (見積の入力) : 仕入先から受け取った見積価格・条件を SAP に入力します。
- ME49 (価格比較リスト) : 複数仕入先の見積を比較して最安値・最良条件の仕入先を選定します。

発注書 (Purchase Order: PO)

- ME21N (発注書の作成) : 仕入先・発注品目・数量・単価・入荷日・勘定割当を入力します。ME57 からの変換で自動作成される場合は内容確認・承認のみです。
- ME22N (発注書の変更) : 発注後の数量変更・納期変更・追加条件を編集します。変更履歴が自動記録されます。
- ME23N (発注書の参照表示) ・ ME2M (品目別発注書一覧) ・ ME2L (仕入先別発注書一覧) : 発注状況の確認・追跡に使用します。

枠契約 (Outline Agreement)

- ME31K (数量契約の作成) : 仕入先と「年間〇〇個・〇〇円の枠契約」を締結する場合の長期発注契約です。個別発注書はこの契約を参照して発行し、契約残量を自動管理します。
- ME31L (スケジュール合意) : 自動車業界等で使われる長期スケジュール合意です。週次・月次の納品スケジュールを仕入先と共有し、EDIで自動連携します。

第五章：入荷・在庫管理

入荷 (Goods Receipt: GR)

発注した商品・材料が仕入先から届いたとき「入庫（入荷）転記」を行います。入庫転記と同時に「在庫増加」と「GR/IR 仮勘定への仕訳（入庫伝票の会計仕訳）」が自動生成されます。

- MIGO（入庫：移動タイプ101）：発注書番号を参照して入庫品目・数量・保管場所を入力します。移動タイプ101が標準入庫です。入庫と同時に「在庫勘定 Dr / GR/IR 仮勘定 Cr」の仕訳が生成されます。
- 品質管理在庫（Q-Stock）：QMが有効化されている品目は入庫時に自動的に「品質検査中在庫」に計上されます。検査合格後に利用可能在庫に移動します（QA32：使用決定）。
- 入庫後の在庫確認（MB52）：保管場所・プラント別の在庫残高を確認します。MB51（在庫移動伝票一覧）で過去の入庫・出庫履歴を確認します。

在庫移動

在庫を倉庫間・プラント間・在庫タイプ間で移動するケースです。移動タイプがすべての在庫移動を制御します。

- MIGO（在庫移動）：移動タイプ「311（保管場所間移動）・315（プラント間移送）・301（プラント間振替）・321（品質保留→利用可能）・551（廃棄）」等を使用します。
- MB1B（在庫振替）：在庫ステータスの変更（利用可能→品質保留等）に使用する旧式トランザクションです。MIGOでも同等機能が使えます。
- OMJJ（移動タイプのカスタマイズ）：標準の移動タイプに加えて、自社固有の在庫移動（例：返品・廃棄の詳細区分）を追加できます。

棚卸

- MI01（棚卸実施指示の作成）→MI04（カウントの入力）→MI07（差異の転記）：棚卸三点セットです。実地棚卸日を設定→現物カウント→システム在庫との差異確認→差異計上の順に実行します。

- MI20（棚卸差異リスト）：カウント後に在庫差異（プラス/マイナス）のある品目を一覧確認します。差異の原因確認・再カウント後に差異転記（MI07）します。

第六章：請求書照合（Logistics Invoice Verification: MIRO）

三点照合の仕組み

MIROでの請求書照合では「発注書（PO）の発注内容・実際の入庫数量・仕入先の請求書内容」の三点を自動照合します。SAPはPOの単価×入庫数量から「期待支払額」を計算し、仕入先請求書の記載金額と比較します。差異が許容範囲（OMR6で設定）内であれば自動承認、範囲外は「ブロック（Payment Block）」が自動設定されます。

- MIRO（請求書照合の実行）：仕入先・請求書日付・請求書番号・請求金額・税コードを入力し、参照する発注書番号を指定します。SAPが発注書・入庫情報から期待値を自動入力します。差異がある場合は差異理由を確認・承認します。
- MR11（GR/IR 仮勘定の清算）：期末に入庫済み未請求（GR残高あり・IR未着）または請求済み未入庫（IR残高あり・GR未完）の項目を清算します。
- MRRL（自動請求書照合：ERS）：ERS（Evaluated Receipt Settlement）設定の発注書に対して、MIROなしで入庫情報から自動的に買掛金を計上します。担当者の請求書入力工数をゼロにします。

請求書照合のトラブルシューティング

- MR8M（請求書の取消）：誤った請求書照合を取り消します。すでに支払済みの場合はFIから逆仕訳が必要です。
- MRBR（ブロックされた請求書の解除）：価格差異・数量差異等でブロックされた請求書を確認し、差異が正当なら解除・不正なら修正依頼します。

第七章：特殊調達パターン

委託在庫管理 (Vendor Consignment)

仕入先の在庫を自社倉庫に保管し、実際に使った時点で買掛金が発生するパターンです。在庫リスクは仕入先が持ち、自社は使った分だけ支払います。

- MIGO (移動タイプ 101K: 委託在庫) : 仕入先委託品を自社倉庫に受け入れます。在庫時点では買掛金は計上されません (在庫評価は発生)。
- MIGO (移動タイプ 201K: 委託消費) : 委託在庫を生産や販売に使用した時点で初めて買掛金が計上されます。
- MRKO (委託精算の実行) : 月次または都度、消費済み委託在庫の精算 (買掛金計上・支払) を実行します。

外注加工 (Subcontracting)

自社の材料を外注先に渡し、加工してもらった完成品を受け取るパターンです。PP-302 の「品目外注」に対応します。

- ME21N (外注発注書: 品目カテゴリ L) : 発注書明細に「支給部品 (Components)」タブで支給材料を指定します。
- MIGO (移動タイプ 541: 支給材料の払い出し) : 外注先に材料を送り出します。材料は「外注在庫 (Vendor SC Stock)」として自社の在庫に残ります (所有権は自社)。
- MIGO (移動タイプ 101: 完成品の在庫) : 外注先から完成品を受け取ります。在庫と同時に支給材料が消費されます。

サービス購買

- ME21N (サービス発注書: 品目カテゴリ D) : 物品ではなく役務 (清掃・保守・コンサルティング) を調達します。
- ML81N (サービス承認: Entry Sheet) : サービス完了を記録します。GIではなくサービス承認で完了を確認します。MIRO でサービス承認を参照して請求書照合を行います。

第八章：End-to-End トランザクション操作ガイド

シナリオ：原材料の標準調達フロー（P2P）

Step1: MRP からの購買依頼自動生成

- MD01N（MRP 実行）→購買依頼の自動生成：PP の MRP が材料の所要量を計算し購買依頼（PR）を自動生成します。

Step2: 発注書の作成

- ME57（ソース決定・発注書変換）：バイヤーが ME57 で購買依頼一覧を確認し、ソースリスト・購買情報マスタを参照して仕入先を決定します。承認後に ME21N で発注書を作成します。

Step3: 入荷

- MIGO（入庫：移動タイプ 101）：仕入先から材料が届いたら MIGO で発注書参照・入庫します。「在庫 Dr / GR/IR Cr」仕訳が自動生成されます。

Step4: 請求書照合

- MIRO（請求書照合）：仕入先から請求書が届いたら MIRO で入力します。三点照合により差異確認後「GR/IR Dr / 買掛金 Cr」仕訳が生成されます。

Step5: 支払

- F110（支払プログラム）：FI の自動支払で買掛金を消込・支払います。「買掛金 Dr / 銀行 Cr」。

第九章：SPRO コンフィグ設定ガイド

企業構造

- OX08（購買組織の設定）：「**全社購買組織**」「**事業部別購買組織**」等の単位を定義します。
- OME4（購買グループの設定）：担当バイヤーグループを定義します。品目マスタの購買ビューと発注書に使用します。
- OX01（購買組織・会社コードの割当）。OX17（プラント・購買組織の割当）。

価格設定

- OMFМ（決定表グループ）・OMFP（購買組織の割当）・OMFO（価格決定表）：MMの価格決定表（Pricing Schema）を設定します。SDの価格条件と同様の「条件技術」を使用します。

請求書照合設定

- OMR6（許容範囲の設定）：MIROでの価格差異・数量差異の許容範囲（絶対値・パーセント）を設定します。許容範囲内の差異は自動承認、範囲外はブロックされます。
- SM34:VC_T030K（自動仕訳の設定）：入庫・請求書照合時の自動仕訳（GR/IR 仮勘定・在庫勘定）の Account Determination を設定します。

在庫管理設定

- OMJJ（移動タイプの設定）：標準移動タイプに加えて自社固有の移動タイプ（例：品質廃棄の詳細区分）を追加・カスタマイズします。
- OMSY（在庫購買管理・会社コードの割当）：在庫管理を有効化する会社コードを設定します。
- OMD0（MRP 管理者）：MMの品目マスタで使用するMRP管理者コードを設定します（PPと共用）。

品目マスタ設定

- OMS2（品目タイプの設定）： ROH（原材料）・HALB（半製品）・FERT（完成品）・HAWA（商品）等の品目タイプを定義します。品目タイプごとに使用可能なビュー・移動タイプを制御します。
- OMSF（品目グループ）・OMS3（産業コード）： 品目マスタの分類情報です。Account Determination や購買条件管理に使用します。
- OMWC（品目分割評価）： 同一品目を「国内調達品・輸入品」で異なる在庫評価をする場合（分割評価）の設定です。

以上